



BS/UHFチェッカー

BS/UHF帯域用 (地上デジタル放送対応)

MODEL
NL30S

●このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特長

- 本器はUHF電波およびBS電波の強さに応じて5段階にチェッカーランプが点灯する簡易型のチェッカーです。
- UHFアンテナおよびBSアンテナを設置する際に電波の強い方向が確認できます。
- BS電波を確認する場合は、チューナーやテレビなどからのBSアンテナへの供給電源を利用して動作しますので、本体の電池は使用しません。
- 受信感度を電波の強さに合わせて調節できます。
- 帯域別に電源ランプが点灯しますので、動作確認が一目で分かります。
- お部屋のテレビコンセントに接続すれば、電波が届いているか確認できます。(UHF)
- ストラップ(付属品)を取付ければ、持ち運びが便利になり、落下の防止にも役立ちます。

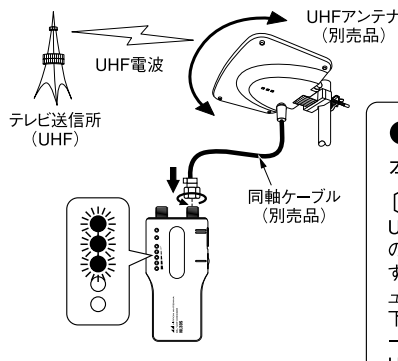
■ご使用になる前に

- 本器裏側の電池BOXカバーをはずし、単4形乾電池(2本)を正しく入れてください。

■ご使用方法

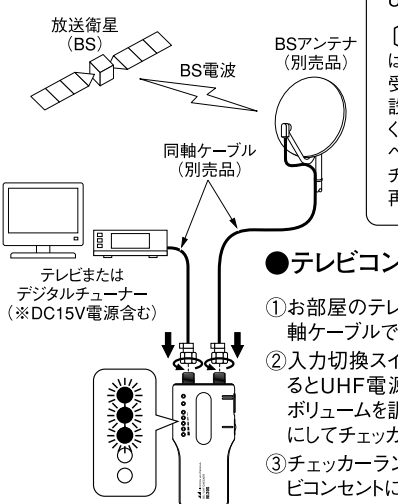
●UHF電波の強い方向を確認する場合

- ①UHFアンテナと本器の入力端子を同軸ケーブルで接続します。
- ②本体のスイッチをUHFへ切換えるとUHF電源ランプが点灯します。
- ③UHFアンテナをテレビ送信所の方向に向け、チェッカーランプの点灯数を確認しながらUHFアンテナの向きや高さを調整します。チェッカーランプの点灯数が一番多い位置でUHFアンテナを固定してください。



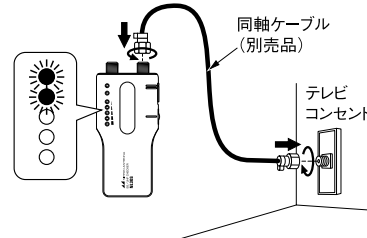
●BS電波の強い方向を確認する場合

- ①BSアンテナと本器の入力端子を同軸ケーブルで接続し、チューナーやテレビなどからの同軸ケーブルを本器のBS給電端子に接続します。本器のスイッチはBS側であることを確認します。
- ②チューナーやテレビなどのBSアンテナ電源をONにします。本体のBS電源ランプが点灯します。
- ③BSアンテナを地域毎の仰角に合わせます。次に方位角を東経110°方向(午後2時~3時の太陽の方向)を目安として合わせます。
- ④チェッカーランプの点灯数を確認しながらBSアンテナの向きを調整します。チェッカーランプの点灯数が一番多い位置でBSアンテナを固定してください。
- ⑤BS・110°CS放送対応アンテナならBS放送の方向が合えば、110°CS放送(e 2 by スーパー!)も受信できます。

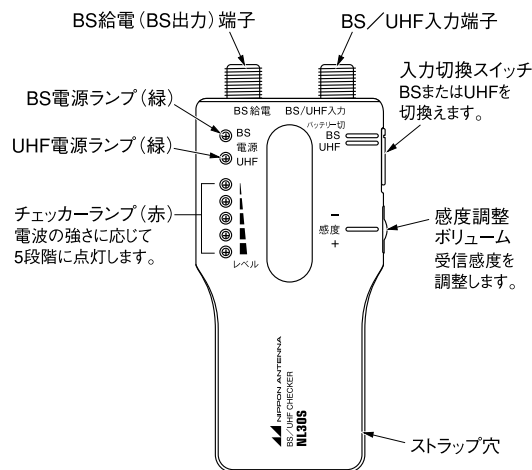


●テレビコンセントにUHF電波が届いているか確認する場合

- ①お部屋のテレビコンセントと本器を同軸ケーブルで接続します。
- ②入力切換スイッチをUHF側に切換えるとUHF電源ランプが点灯します。ボリュームを調節し、受信感度を最大にしてチェッカーランプを確認します。
- ③チェッカーランプが点灯すれば、テレビコンセントに電波が届いています。



■各部の名称



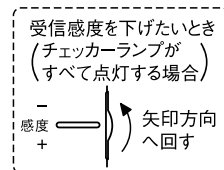
●感度調整について

本器の受信感度はボリュームで上げたり下げたりできます。

〔UHFの場合〕

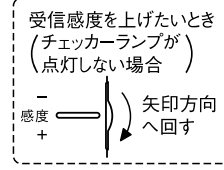
UHF電波の強い地域では、UHFアンテナの方向に関係なくチェッカーランプが点灯する場合があります。このような場合はボリュームを右上図のように回し、受信感度を下げてください。受信感度を下げてチェッカーランプの点灯数が少なくなったら、再びUHFアンテナの方向を調整してください。

(出荷時は最大に設定)



〔BSの場合〕

はじめにボリュームを右下図のように回し、受信感度を上げてください。BSアンテナの設置では受信可能な方向が狭いため、ゆっくりに動かしてください。チェッカーランプがすべて点灯する位置になったら、感度を下げ、チェッカーランプの点灯数が少なくなったら、再びBSアンテナの方向を調整してください。



保証書

型名	NL30S		製造番号	
お客様	お名前			
	ご住所			
		電話番号	()	
お買上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間 (お買上げ日より)		本体1年 (但し消耗品は除く)		

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - ①無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。
 - ②修理対象品を直接当支店・営業所・出張所まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行った場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。

(裏面に続きます)

■使用上のご注意

- 本器を使用する前に必ず下記「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 本器は簡易型のチェッカーです。正確な受信レベル測定を必要とする場合は、電界強度測定器などをご使用ください。
- ボリュームは軽く回る範囲内で回してください。無理に回すと破損する恐れがあります。
- 同軸ケーブルが未接続でも、気温が低いとチェッカーランプが点灯する場合がありますが、本器の故障ではありません。
- 本器は電波の品質を確認する機器ではありませんので、チェッカーランプが点灯しても画像が映らない場合があります。
- 本器の接続はF型接栓やプラグ付ケーブルをご使用ください。
- 3C、4C、5C同軸ケーブルをご使用ください。また、7C同軸ケーブルをご使用になる場合は、ピン付接栓をご使用ください。

[UHF]

- UHF電波が強い地域では、ボリュームを下げてもチェッカーランプがすべて点灯する場合があります。
- 複数のテレビ送信所からUHF電波が送信されている地域では、あらかじめ受信したいテレビ送信所の方向をご確認ください。
- 強い電波の送信所があると、その強い電波に反応してチェッカーランプが点灯する場合があります。
- 本器はUHF帯域[13~52(62)ch]の電波に反応しますので、地上アナログ放送と地上デジタル放送が混在する期間中(サイマル期間)は、チェッカーランプが点灯しても地上デジタル放送を受信できない場合があります。
- チェッカーランプの点灯数が少なかったり点灯しない場合は、テレビ視聴が困難な地域の可能性があります。
- UHF側へ切替えても電源ランプの点灯が暗くなったり点灯しない場合は、新しい電池に交換してください。

[BS]

- 本器はBS放送用(東経110°)です。BS放送と110°CS放送(e 2 by スカパー-/)兼用アンテナなら問題なく使用できます。スカパー/(JCSAT3号、JCSAT4号)用のアンテナでは使用できません。
- チューナーやテレビなどからBSアンテナ用の電源をONにしても本器のBS電源ランプが点灯しない場合は電源が本器まで届いていません。システムや同軸ケーブルなどをご確認ください。
- 給電電圧が高い場合やBSアンテナの特性などで方向が合っていない場合でもチェッカーランプが点灯する場合がありますが、本器の故障ではありません。また、BS用アンテナでも他の衛星を受信してランプが点灯する場合があります。

■安全上のご注意



注意

この表示を無視したり、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

[本器について]

- 本器の接続は切換スイッチをバッテリー一切(BS)側およびBSアンテナ電源を切った状態でおこなってください。
- 雷が鳴り出したら同軸ケーブルなどに触れないでください。感電の原因となります。
- 本器を分解しないでください。故障の原因となります。
- 雨天時は本器がぬれないようご注意ください。本器の内部に水や異物が混入すると、発熱による変形や故障の原因となります。
- 本器を長期間使用しない場合は電池をはずしてください。破裂や液漏れの原因となります。

[電池について]

- 電池を入れるときは+(プラス)と-(マイナス)の向きにご注意ください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください。破裂や液漏れの原因となります。
- 火の中へ投げ入れたり、高温となる場所の近くには置かないでください。破裂や液漏れの原因となります。

■性能

項目	性能		備考	
受信帯域	UHF		BS-IF	
受信チャンネル(ch)	※1 13~52(62)	BS1~15[23]	()は拡張チャンネル	
電源	単4形乾電池 2本		DC15V 30mA (BS出力端子受電)	
乾電池寿命(連続使用時)(時間)	マンガン	10以上	—	参考値
	アルカリ	20以上		
寸法(mm)	高さ109 幅40 奥行20			
質量(g)	60			電池含まず

※1 ()内のチャンネルは2012年までの予定。

■受信レベルについて

ボリューム	最大		最小		
チェッカーランプ	1個点灯		5個点灯		
受信帯域	UHF		BS-IF	UHF	BS-IF
受信レベル(dBμV)	※2 40~55	約65	※2 75以上	約95以上	
	受信チャンネル数7波の時	約45	—	約80以上	—

※2 受信するチャンネル数によって変わります。

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

●製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D893004222 平成19年12月改訂

■支店

東京☎(03)3893-5371
横浜☎(045)829-0024
名古屋☎(052)822-3321
大阪☎(06)6928-3461
福岡☎(092)584-1751
札幌☎(011)743-8515
盛岡☎(019)625-3128

仙台☎(022)390-0255
宇都宮☎(028)663-4191
高崎☎(027)361-1041
水戸☎(029)253-6901
長野☎(026)244-3135
北陸☎(076)257-6633
さいたま☎(048)651-7361
千葉☎(043)265-6401
多摩☎(042)540-1100

静岡☎(054)238-1200
神戸☎(078)978-5545
広島☎(082)292-2747
高松☎(087)865-0945
北九州☎(093)611-5258
熊本☎(096)358-6211
鹿児島☎(099)260-9666
■出張所
浜松☎(053)423-2011

- 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
 - ④海岸付近、温泉地等の地域における公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
 - ⑤ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
 - ⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
 - ⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
 - ⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
 - ⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
 - ⑪本書のご提示がない場合。
 - ⑫本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。